

令和7年度 有田市郷土資料館特別展

とうとう せんぱ

# 馬仙工陶

2025.09.20<sup>土</sup> - 11.24<sup>月祝</sup>

アガテ、  
ニレミタイル

〒649-0304 有田市郷土資料館  
和歌山県有田市箕島27 有田市文化福祉センター4F

南紀小山焼 陶器形伏香炉（個人蔵）  
主催 有田市教育委員会

# 鬼才の名品、一同に集結

## 紀州と陶磁器

江戸時代、紀伊国を治めた紀州徳川家は、御三家の一角として大きな影響力を持っていました。歴代藩主は、御三家として誇れるような国力の維持を図り、さまざまな方法を模索し続けていました。

江戸時代後期、そのひとつとして国産陶磁器が注目され、近代に至るまで多くの窯が成立します。歴代藩主やその重臣の私的な窯で制作された御庭焼や偕楽園焼、紀州徳川家の援助を受けて操業された南紀男山焼や南紀小山焼。民間窯として動き出した瑞芝焼や太田焼など、実に多種多様な陶磁器が近世以降、和歌山の歴史を彩り、支えてきました。

1. 南紀男山焼 染付不老橋図絵鉢
2. 南紀男山焼 染付松竹梅図徳利
3. 鯉形陶匱  
(以上、個人蔵)



## 光川亭仙馬

近代化の足音が海を越えて伝わり始めた江戸時代後期、ひとりの陶工が誕生しました。その名は政吉、のちに光川亭仙馬として紀州の陶磁器界を舞台に活躍し、数々の作品を生み出すことになります。

しかし、その活躍とは裏腹に、貧しい家に生まれ、相次いで家族に先立たれた仙馬は多くの難題に挑み続ける人生を送ることになります。

本展では、紀州随一の陶工と称された光川亭仙馬がどのような人生を辿ったのか、また、時代の過渡期で足掻き続けた苦悩の人生に迫ります。

4. 母子像
5. 浅黄釉蝦蟇形置物
6. 南紀小山焼 髑髏形伏香炉  
(以上、個人蔵)

## 特別展関連講演会

11月22日(土) 13:30～

「陶工のアイディアブックー下絵帖からみた仙馬ー」

講師：袴田 舞氏(和歌山県立博物館 学芸員)

会場：文化福祉センター 3F 会議室

受講料：無料

申込方法：申込フォーム、

またはお電話にてお申し込みください。

申込先：有田市文化福祉センター

Tel：0737-82-3221



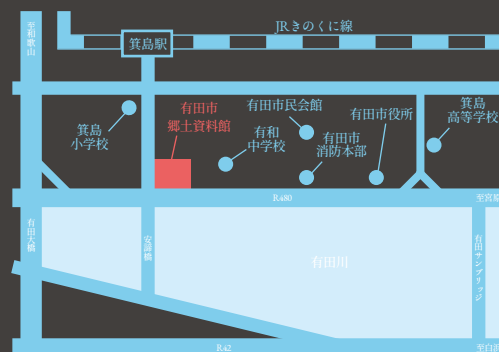
申込フォーム

## ギャラリートーク

担当学芸員による展示解説を行います。※申込不要

第1回：10月4日(土) 13:30～

第2回：11月15日(土) 13:30～



## ■アクセス

- ・電車でお越しの方  
JRきのくに線「箕島駅」下車徒歩約5分
- ・お車でお越しの方  
有田ICより約15分 ※駐車場有り

## 有田市郷土資料館

〒649-0304

和歌山県有田市箕島 27 有田市文化福祉センター 4F

Tel：0737-82-3221 Fax：0737-82-3311

会場：有田市郷土資料館第2展示室 入館料：無料

休館日：毎週水曜日

開館時間：09:30～17:00(入館は16:30まで) 主催：有田市教育委員会